

観点別学習状況の評価の総括について

1 はじめに

「指導要録の記入と取扱い - 小・中学校用 - 平成13年12月 岐阜県教育委員会」を十分に参照する。

(1) 評価の観点及びその趣旨

【評価の観点及びその趣旨】

観 点	趣 旨
生活への関心・意欲・態度	身近な環境や自分自身に関心をもち、進んでそれらとかかわり、楽しく学習や生活をしようとする。
活動や体験についての思考・表現	具体的な活動や体験について、自分なりに考えたり、工夫したりして、それをすなおに表現する。
身近な環境や自分についての気付き	具体的な活動や体験をしながら、自分と身近な人、社会、自然とのかかわり及び自分自身のよさなどに気付いている。

【学年別の評価の観点の趣旨】

観 点 \ 学 年	第1学年及び第2学年
生活への関心・意欲・態度	身近な人、社会、自然及び自分自身に関心をもち、進んでそれらとかかわり、楽しく学習したり、意欲的に遊びや手伝いなどをしたりしようとする。
活動や体験についての思考・表現	調べたり、育てたり、作ったりするなどの活動や学校や家庭などにおける自分の生活について、自分なりに考えたり、工夫したりして、それをすなおに表現する。
身近な環境や自分についての気付き	具体的な活動や体験をしながら、学校や家庭及び地域と生活、公共物の利用、身近な自然や動植物、自分の成長などの様子に気付いている。

(2) 観点別学習状況

小学校学習指導要領に示す教科の目標に照らして、その実現状況を観点ごとに評価する。

実 現 状 況	記 号
「十分満足できると判断されるもの」	A
「おおむね満足できると判断されるもの」	B
「努力を要すると判断されるもの」	C

(3) 評定

小学校では、第3学年以上の各教科の学習の状況について、小学校学習指導要領に示す教科の目標に照らして、その実現状況を総括的に評価する。

2 観点別学習状況の評価の観点ごとの総括

「評価の手引き - 小学校 - 平成16年6月 岐阜県教育委員会」を十分に参照する。
また、小学校学習指導要領及び解説を十分に分析する。

生活科においては、「質の高まりや深まりを評価する」ことが大切である。基本は、3つの評価の観点全ての「学習活動における具体的評価規準」に照らして学習状況の評価していくことである。

(1) 単元等における総括

事例1：単位時間の評価とメモ等を利用して総合的に評価の総括をする。

机列表を活用し、評価は特にA・Cを記入。顕著な様子についてはメモを書き加える。(資料1)

上記の用紙と児童の作品やカード等を考慮し、時間ごとの評価を記録し評価表を作成する。(資料2)

(資料1) 机列表

月 日		黒 板				
ア			A 大きな声で	A にここに	欠席	A 目に見えるよう提示
ウ				A		A
ア	A 一生懸命	A うれしそうに話した			A 自信をもつて	
ウ	A	A	C			
ア			C 接し方			
ウ			C 声かけでメッセージ		A 自分と比べて聞く	
ア	C 接し方			ア 関心・意欲・態度 グループの中で自分の調べたことを伝えようとしている。	イ 思考・表現	ウ 気付き 自分の成長に気付くことができる。
ウ		A				

(資料2) 評価表

氏名	時間	生活への関心・意欲・態度						総括	活動や体験についての思考・表現						総括	身近な環境や自		
		1	2	3	4	7	8		1	2	3	4	7	8		1	2	3
1		A	A			A		A		A	B			B	B		A	
2		C	C			B		C		B	B			B	B		B	
3		B	B			B		B		B	C			C	C		B	

事例 2：記述式の顕著な例の累積を利用して総合的に評価の総括をする。

ポケットサイズのバインダーを利用し、カードに書いた毎時間のメモと児童の姿から評価し（資料 3）、評価表に記録する。

（資料 3）バインダー



カード



資料 3 のカードと、児童の作品やカード等を考慮し、時間ごとの評価を記録する。評価表は資料 2 を参照する。

（2）学期末・学年末等における総括

事例 3：小単元の観点ごとの評価の総括を利用して総合的に評価の総括をする。

氏名	単元		小単元	小単元		小単元	観点ごとの評価の総括
	観点						
1	生活への関心・意欲・態度		A	A		A	A
	活動や体験についての思考・表現		A	B		B	B
	身近な環境や自分についての気付き		B	C		B	B
2	生活への関心・意欲・態度		B	A		B	B
	活動や体験についての思考・表現		C	B		C	C
	身近な環境や自分についての気付き		B	A		B	B